

天満宮に「丑の絵馬飾り」

芳賀中アート部作成

天満宮(西水沼)の境内に、芳賀中アート部作成の絵馬が飾られています。

昨年末、天満宮からアート部に作成の依頼があつたそうです。依頼された絵馬のイメージは「座っている丑の絵」。部員からアイデアを募集し、長友咲良部長(2年)と平井佳奈さん(1年)のデザインが選ばれました。長友さんは、「自分の作品が、皆さんに見てもらえてうれしいです」

平井さんは、「自分のデザインが選ばれて、うれしかったです」と話してくれました。絵馬の作成は、担当個所を分け、アクリル絵の具などを使い部員全員で協力して行つたそうです。来年以降も十二支が揃うことを目指して作成していくとのです。絵馬は、3月末まで飾られる予定ですので、皆さんも、ぜひご覧ください。



(写真上) 天満宮に飾られている絵馬
(写真下) 芳賀中アート部の皆さん

「まゆ玉作り」と「昔遊び体験」

1月8日、与能集落センターで子育て支援センター「あつとほーむ」と生きがいサロンが合同でまゆ玉作りを行いました。



▲かしの森公園北側梅林

かしの森公園と天満宮(西水沼)の紅梅が咲き始めました。日の当たる場所にある木は、かしの森公園で2分咲き、天満宮で3分咲きといったところです(1月26日現在)。また、天満宮のロウバイは満開となっています。皆さんも一足早い春の訪れを感じてみませんか。

この日は、まゆ玉作りのほかに、かるたや福笑い・羽根つきなどの昔からの正月遊びをお年寄りと子どもたちで楽しみました。また、お年寄りが作っただんごは「おいしい」と子どもたちに好評でした。



▲芳賀町そばの郷づくり推進協議会



▲芳賀町の特産品コーナー

芳賀地方「花」「食」「農」まつり開催

12月23日、真岡市農産物販売交流施設いがしら(あぐ里っ娘)で平成20年度芳賀地方「花」「食」「農」まつりが行われました。会場では芳賀地方の花・農産物・特産物の展示や即売、たい肥・卵・米の無料配布などが行われ、多くの人が賑わいました。

また、併せて芳賀地方花の展覧会と「食」の児童画コンクールも行われました。

平成20年度芳賀地方花の展覧会入賞者

- ◆銀賞 (芳賀地方農業振興協議会長賞)
苗物部門 ゼラニウム 田崎 秀一 (東高橋)
- ◆銅賞
鉢花部門 シクラメン 菱沼 軍次 (北長島)
切花部門 輪ギク 水沼 一廣 (東高橋)

平成20年度芳賀地方「食」の児童画入賞者

- ◆優秀賞
薄根 楓 (芳賀東小4年)
猪瀬廉太郎 (芳賀東小5年)
- ◆優良賞
佐藤 聖悟 (芳賀東小6年)
堂前 美穂 (芳賀東小6年)

※敬称略



J A女性会で手作り味噌作り

J A女性会では、1・2月中に数グループに分かれて、JA梨・トマト選果場(芳志戸)で、それぞれ家庭用の手作り味噌作りを行っています。

材料には、町内産酒米の五百万石と大豆を使い、3日ほどかけて仕込みを行います。味噌が熟成して食べられるようになるのは10月ごろのこと。参加者は「何年も作っているけど、自分で作る味噌は一味違うね。年によって出来が違うのもまた楽しいところ」と話していました。



花ちよう遊館と プラネタリウム見学

1月10日、とんがり教室と冒險チャレンジクラブが合同で井頭公園と真岡市科学教育センターのプラネタリウムに行きました。

井頭公園の花ちよう遊館では、放し飼いの鳥や蝶を間近に見ることができました。中でも、オオゴマダラの金色のさなぎに子どもたちは興味津々でした。

プラネタリウムでは、星座の解説を聞いたり、たくさんの星に囲まれて幻想的な時間を過ごしました。

JA女性会では、1・2月中に数グループに分かれて、JA梨・トマト選果場(芳志戸)で、それぞれ家庭用の手作り味噌作りを行っています。

材料には、町内産酒米の五百万石と大豆を使い、3日ほどかけて仕込みを行います。味噌が熟成して食べられるようになるのは10月ごろのこと。参加者は「何年も作っているけど、自分で作る味噌は一味違うね。年によって出来が違うのもまた楽しいところ」と話していました。

JA女性会では、1・2月中に数グループに分かれて、JA梨・トマト選果場(芳志戸)で、それぞれ家庭用の手作り味噌作りを行っています。

材料には、町内産酒米の五百万石と大豆を使い、3日ほどかけて仕込みを行います。味噌が熟成して食べられるようになるのは10月ごろのこと。参加者は「何年も作っているけど、自分で作る味噌は一味違うね。年によって出来が違うのもまた楽しいところ」と話していました。